Century Corporation User's Manual



# кD25/35PRO 取扱説明書

CENTURY CENTURY			
COPY			
		o	

KD25/35PRO Manual 2008/04/16

CENTURY

# 【はじめに】

このたびは「これdo台PRO(KD25/35PRO)」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 ご使用の前に本説明書を必ずお読み下さい。

## 【安全上の注意】 <必ず守って頂くようお願いします>

・ご使用の前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に 防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守って頂くようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

# <u>∧</u>警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる

煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店 へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- ■機器の分解、改造をしない
- 機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検及び修理は、お買上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源ブラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店へ修理を拡積されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■温気や水気のある場所では使用しない

台所や風呂場などの、湿気や水気のある場所では使用しないで下さい。機器の故障や、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないで下さい。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがありま す。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取り扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘などで固定すると傷ついて芯線の露出や断線などによる火災や感電 の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかける恐れのある位置等には設置しないで 下さい。

- ■雷が鳴り出したら電源コードに触れないで下さい。
- 感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触らない

ぬれたままの手で機器に触れないで下さい。感電や故障の原因になります。

# <u>∧</u>注意

■設置場所に関しての注意事項

以下の様な場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・熱、暖房器具(ストーブ、アイロン、ヒーター等)の近く。
- ・油煙や湯気ののあたる調理台、加湿器等湿気の近く等ほこりや湿気の多い場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ■長期間使用しない場合は接続コードを外してください
- 長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- ■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
- 移動する際は必ず接続コードを外して行って下さい。接続したままの移動はコードの断線などの原因となります。
- ■小さいお子様を近づけない。
- お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我などの原因になることが有ります。
- 感電や故障の原因になります。 ■静電気にご注意ください
- 本製品は精密電子機器ですので静電気を与えると、誤動作や故障の原因となります。

# ■もくじ

■はじめに	i
■安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i
■特長······	1
■制限事項・・・・・	1
■ご使用の前に	1
■製品仕様・・・・・	2
■製品内容・・・・・	2
■各部の名称	2
■対応HDD	З
■対応機種・対応OS	З
■組み込み方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
■モードの変更について	11
■スタンドアロンモード	12
操作手順	13
Jビーモート コンパアモード	15
ディスクチェックモード	17
データイレースモード	18
オプション設定について	19
液晶表示について	21
■PC接続モード ······	26
操作手順	27
スタノタートモート	28
ミラーモード	28
■Windowsでの使用方法	29
■コンピュータ起動中のモード変更とHDDの取り外し	38
■Macintoshでの使用方法	39
■トラブルシューティング	41
FAQ ·····	43
■サポートのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47

# 【特長】

■PCなしでHDDのコピー作成や、データ消去が可能!

- ■PCに接続して外付けHDDとして使用可能!
- ■4種類のHDD{2.5インチPATA(IDE)、3.5インチPATA(IDE)、2.5SATA、3.5SATA}を接続 可能。
- ■LCDパネルで操作状況が一目で分かる!
- ■エラースキップ機能付き!
- ■最大コピースピード70MB/sec
- ■スピンアップディレイ機能搭載(Disk2は電源ONから10秒後にスピンアップします) ※OPTIONで変更可能。
- ■Windows/Macintosh以外のHDDもコピー可能(コピーしたHDDから起動できるかはOS によります)

# 【制限事項】 <必ずお読みください>

- ・本機からのOS起動はサポートしておりません。
- ・本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では 一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用 ください。
- ・本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用され た場合の責任は負いかねます。
- ・本機は2.5インチおよび、3.5インチのIDEあるいはSATA HDD専用です。CD-ROM等の動作 はサポート外とさせていただきます。

# 【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお 気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡頂きます様お願いします。

1

- ・Windows はMicrosoft Corporationの 登録商標です。
- ・MacintoshはApple Inc.の 登録商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

# 【製品仕様】

型	番	: KD25/35PRO
商品	名	:これdo台Professional
ホストイ	インターフェイス	:SATA1.0a(eSATA接続)/USB Rev2.0(Bコネクタ)
デバイフ	スインターフェイス	: SATA1.0a/E-IDE (PIO-0~UDMA-6)
PC接続	コネクタ形状	:USB(Bタイプ)/eSATA
重	量	:約360g
4	法	:W146xD102xH25.4mm
温度、	湿度	:温度5~35度 湿度20~80%(結露無き事、接続するPCの動作範囲内である事)
※本製品	品にハードディスク	ドライブは含まれておりません。

# 【製品内容】

□KD25/35PRO本体 □USB2.0ケーブル ର □eSATAケーブル □2.5インチPATA(IDE) HDD用フラットケーブル×2 □3.5インチPATA(IDE) HDD用フラットケーブル×2 □SATAケーブル×2 □SATA電源ケーブル×2 □専用ACアダプター □専用ACケーブル □専用マット×2 s 🗆 □取扱説明書(本書)/保証書(取説裏面) ※同種類のケーブルは長さを変えてあります。 使いやすい方を適宜ご使用ください。











3.5インチ PATAIDE) HDD用ケーブルベ2 2.5インチ PATAIDE) HDD用ケーブルベ2 SATAケーブルベ2

Ň

SATA電源ケーブル×2







取扱説明書(太書) /保証書(本書裏面)





2

# 【対応HDD】

3.5インチ・2.5インチのPATA(IDE)あるいはSATA HDD

#### ※Maxtor製HDDに関して

Maxtor製のHDDに関しまして、一部の動作に問題がある場合がございます。詳しくはP.42の【Maxtor 製(SeagateブランドのMaxtor設計HDD含む)HDDを接続する際の注意】をご覧ください。

# 【対応機種·対応OS】

#### ■PC接続モード:eSATA接続の場合

#### 対応機種

eSATA I/Fを備えたPC/AT互換機及びMacintosh

#### 対応OS

#### Windows

Windows2000/WindowsXP/Windows Vista ※お使いのeSATA対応ホストアダプタの対応PC、OSもご確認ください。

#### Macintosh

MacOS 10.3以降

#### ■PC接続モード:USB接続の場合

#### Windows

- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB2.0モード動作時)
- ・USB1.1インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB1.1モード動作時) ※intelチップセット搭載モデル推奨
- ・Pentium300MHz/メインメモリ128MB以上

対応OS:Windows2000/WindowsXP/Windows Vista

#### Macintosh

MacPro、Power Macintosh G5、Mac mini、eMac、iMac、MacBook Pro、
 Power Book G4、MacBook、iBook G4 (USB2.0インターフェイス標準搭載モデル)

対応OS:MacOSX(10.3以降) ※USB2.0ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。

※製品の性質上、全ての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

# 【組み込み方法】

■ハードディスク接続の前に

▲警告 ・ハードディスクを接続するまでに、電源ブラグをコンセントから抜いておいて下さい。 コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

・ハードディスク接続の際には、静電気に十分注意して下さい。
 人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になる事があります。
 作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使い下さい。

▲警告 ・HDDのコネクタやエッジで手を切らないように充分注意して作業を行ってください。

# 【組み込み方法】

#### ■3.5インチPATA(IDE)ハードディスクの取り付け方

#### 1:ハードディスクの設定をMASTERにする。

HDDの設定をMASTERに設定します。MASTER設定はHDDの取り扱い説明書を参照して ください。



#### [例] HITACHI製HDDの場合

(注) この設定は一例です。実際の設定はお使いのHDDの説明書等をご参照ください。
 ※WesternDigital製で『Singleモード』という設定があるHDDの場合はMASTERではなくSINGLEモードに設定してください。

#### 2:HDDとKD25/35PROを3.5インチPATA(IDE)HDD用ケーブルで接続します。

この時指し込む方向に十分注意してください。

また、**無理に押し込むと故障の原因となります**ので慎重に取り扱ってください。



⚠️注意 HDDの端で手を切らないようにご注意ください。

#### ■3.5インチSATAハードディスクの取り付け方

1:HDDとKD25/35PROをSATAケーブルとSATA電源ケーブルで接続します。 この時さしこむ方向に十分注意してください。

また、**無理に押し込むと故障の原因となります**ので慎重に取り扱ってください。





# 【組み込み方法】

■2.5インチPATA(IDE)ハードディスクの取り付け方

#### 1:ハードディスクの設定をMASTERにする。

HDDの設定をMASTERに設定します。2.5インチHDDの場合は左の2本に何も挿さない 状態でMASTERです。



2:HDDとKD25/35PROを2.5インチPATA(IDE)HDD用ケーブルで接続します。 この時指し込む方向に十分注意してください。 また、無理に押し込むと故障の原因となりますので恒重に取り扱ってください。



▲注意 HDDの端で手を切らないようにご注意ください。

#### ■2.5インチSATAハードディスクの取り付け方

1:HDDとKD25/35PROをSATAケーブルとSATA電源ケーブルで接続します。 この時さしこむ方向に十分注意してください。

また、無理に押し込むと故障の原因となりますので慎重に取り扱ってください。





# 【組み込み方法】







# 【モードの変更について】

KD25/35PROはPCに接続されているかどうかを自動的に判断して、PC接続時と単体動作時には選択できるモードが変わります。

電源ONした後にモード選択が表示されます。 ダイヤルスイッチを回転させて使用するモードを選 択してください。



#### ■PCと接続していない場合に選択できるモード

◎12ページ

DISK COPY:ディスクコピー PARTITION COPY:パーティションコピー DISK COPY TEST:ディスクコピーテスト DISK COMPARE:ディスクコンペア PARTITION COMPARE:パーティションコンペア VERIFY CHECK:ベリファイチェック DISK CHECK:ディスクチェック SEEK TEST:シークテスト DATA ERASE 00x1:データイレース00x1 DATA ERASE NSA:データイレースNSA OPTIONS:オプション TO DEVICE MODE: PCに接続しない状態でPC接続モードに切り替えます。 POWER 0FF:パワーオフ、選択すると電源を切ります。

#### ■PCと接続(USBないしeSATA)している場合に選択できるモード

◎26ページ

STANDART:スタンダードモード MIRROR:ミラーモード COMBINE:コンバインモード

Select: が表示されている段階であれば、ケーブルを抜き刺しすることでモードを切り替え る事が可能です。

※ケーブルからの電力の有無で判断しておりますので、ケーブルには PC が接続しており、かつ電源が入っている事が必要です。

# スタンドアロンモード

# 【KD25/35PROをPCと接続しないで使用する】

DISK COPY :  $\vec{r}$ ィスクコピー PARTITION COPY :  $\mathcal{N}$ - $\vec{r}$ ィションコピー DISK COPY TEST :  $\vec{r}$ ィスクコピーテスト DISK COMPARE :  $\vec{r}$ ィスクコンペア PARTITION COMPARE :  $\mathcal{N}$ - $\vec{r}$ ィションコンペア VERIFY CHECK :  $\vec{n}$ リファイチェック DISK CHECK :  $\vec{r}$ ィスクチェック SEEK TEST : シークテスト DATA ERASE 00x1 :  $\vec{r}$ -pイレース00x1 DATA ERASE NSA :  $\vec{r}$ -pイレースNSA OPTIONS : オプション 操作手順 [スタンドアロンモード]

【操作手順】 STEP1

HDDをつないだ後、電源をつなぐ

操作手順



#### STEP2

POWER/STARTボタンを押して電源をいれる





スタンドアロンモード

操作手順

■STEP6 <sup>③エラー発生→</sup>22ページ

処理中表示の確認

Progress 99.9%	進行状況
Speed 999.9MB∕s	現在のデータ転送速度
Past 99:99	経過時間
Left 99:99	予想残り時間(現在の転送速度からの計算値です)
LBA XXXXXXX	現在処理しているLBA(ロジカルブロックアドレス)
Count nnnnnn	シーク回数表示(SEEK TESTのみ)
SeekTime tttms	シークタイム
by RamdomData1	現在消去処理中の処理(DATA ERASE NSAのみ)
by RamdomData2	
by FixedData 00	

※処理中にPOWER/STARTボタンを押すと表示の切り替えを停止できます。 表示の自動切換え停止中は表示2列目の左端に > マークが表示されます。 このとき、ダイヤルボタンを回すことで表示を切り替えることが可能です。 もう一度POWER/STARTボタンを押すと、自動切換え表示に戻ります。

完了

各処理の説明 [スタンドアロンモード]

#### ■コピーモード

・DISK 1 に接続したHDDをDISK 2 に接続したHDDにコピーします。



2つのHDDのデータを一致させることができます。

#### ※コピーはセクタサイズを基準に行われるため、HDDの使用領域の大小に関わらずHDDの容 量分の時間がかかります。

用途によって2種類のコピーモードが選択可能です。

#### • DISK COPY

DISK1のデータを全てDISK2にコピーします。 処理される領域の範囲はDISK1の容量までです。 ※DISK2の容量がDISK1の容量より少ない場合は、DISK2の容量までの処理が行われます。 例:100GBのDiskを60GBにコピーした場合、60GB分のデータだけがコピーされます。

#### コピー元のデータ容量が、コピー先のHDD容量を超えて、全てコピーできない場合は警告が表示されます。

#### PARTITION COPY

DISK1のMBR情報を読み取って、MBRに定義してある容量だけのコピーを行います。 ※DISK2のディスクの容量が、DISK1のMBR情報で定義された容量より少ない場合は、DISK2の容量までの処理が行われます。

#### コピー元のデータ容量が、コピー先のHDD容量を超えて、全てコピーできない場合は警告が表示されます。

#### DISK COPY TEST

このモードはCOPYを行う前に部分的にコピーを実行し、予めコピーにかかる時間、平均転送速度を予測するものです。

※あくまで予測ですので、参考値程度にお考えください。

※以下の場合は容量が小さいため「ERR:Capacity is too small.」と表示してコピーテストを中止します。

- ・1GB(100000000バイト)未満のデバイス
- ・最初の1秒間のコピーで全体のコピー範囲の1%を超える場合

完了するとFORECAST TIME(コピー完了予想時間)、AVERAGE SPEED(平均コピー 速度)を表示します。POWER/STARTボタンを押すと電源が切れます。

※平均を取る計算を行うため、コピー中に表示される終了予測時間、転送速度とは一致しません。また、 HDDは外周(高速)から内周(低速)に向けて速度が遅くなりますので、コピー開始直後の速度より低速 な表示がなされます。

注意!! 部分的ですが実際にコピー処理を行うため、DISK2の内容は改変されます。



#### ■コンペアモード

・接続したHDDの内容が同一かを比較チェックします。



# ※異なる容量のHDDを接続した場合、小さい方のHDDの容量分までしか比較されません。 ※コンペアはセクタサイズを基準に行われるため、HDDの使用領域の大小に関わらずHDDの 容量分の時間がかかります。

用途によって2種類のコンペアモードを選択できます。

#### DISK COMPARE

2台のディスクのコンペアを行います。 コンペアの行われる領域は、同じ容量のディスクなら全容量、異なる容量のディスクであれ ば、容量の小さい方のディスクの領域までとなります。

#### Diskの容量が異なる場合は警告が表示されます。

#### PARTITION COMPARE

DISK1に接続したHDDのMBRを読み取って、MBRに定義された領域のみコンペアを行います。 ※DISK2のディスクの容量が、DISK1のMBR情報で定義された容量より少ない場合は、DISK2の容量までの処理が行われます。

#### Diskの容量が異なる場合は警告が表示されます。

各処理の説明 [スタンドアロンモード]

#### ■ディスクチェックモード

・接続したHDDをベリファイチェックします。



※2台のHDDを同時に接続可能です。 ※接続するディスクが1台のみの場合は、必ずDISK1に接続してご利用ください。

用途に合わせて2種類のチェックモードが選択できます。

#### VERIFY CHECK

ディスクに対してベリファイチェックを行います。

#### DISK CHECK

ディスクに対してベリファイチェックを行い、エラーが発生したセクタに対して、ダミー データを書き込むことによって正常化を図ります。

※この処理を行うとHDDに対して変更が加えられる可能性がありますので、必ず予めデー タのバックアップを行っておいてください。

#### ■シークテストモード

本機のDISK2ポートに接続したHDDに対して、フルストロークのシークテストを行います。 シークテストはヘッドの機械的な故障が無いかのテストです。 このテストは終了がありません。POWER/STARTボタンを押して終了しない限りテストを し続けます。

各処理の説明 [スタンドアロンモード]

## ■データイレースモード

・接続したHDDのデータを消去します。



※2台のHDDを同時に接続可能です。 ※接続するディスクが1台のみの場合は、必ずDISK1に接続してご利用ください。

用途に合わせて2種類の消去モードが選択できます。

#### DATA ERASE 00x1

接続したディスクの全セクタに00データを書き込みます。

#### DATA ERASE NSA

接続したディスクにNSA仕様でのワイブを実施します。 NSA仕様:ランダムデータを2回全セクタに書き込んだ後、OOデータを書き込みます。 トータルで3回の書き込みが行われます。

■オプション ◎オプション設定→P.19

各種オプションが選択できます。

# 【オプション設定について】

オプション設定は動作時の各種オプションが設定可能です。

#### ■操作方法

PCに接続しない状態(スタンドアロンモード)で電源を入れ、ダイヤルキーで[OPTIONS] を選択し、POWER/STARTボタンを押します。

オプション項目はダイヤルキーで選択、POWER/STRTボタンで決定です。

BUZZER	ダイヤルやボタン操作、動作時のブザー音のオンオフ を行います。	ON:ブザーON(出荷時) OFF:ブザーOFF
MAX XFER MODE	スタンドアロンモード時の最大転送速度設定を行います。 **実際の転送速度は接続したHDDや処理によって異なります。あく まで最大転送速度設定であることにご注意ください。 **UltraDMAの設定はPATA接続時のみ有効です。SATA HDD 接続時は150MB/s固定となります。 **転送速度設定をPIOICした場合は、SATA接続ディスクにも適用 されます。	UDMA-6 133MB/s(出荷時) ~ PIO-O 3MB/s まで18段階
	【設定のヒント】 最近のUltraDMAに対応したHDDは最大のUDMA-6で特に問 題ありませんが、古いUltraDMAに対応していないHDD等を使 用する場合等、設定する必要があります。	
AUTO SKIP	エラー発生時に、エラーの発生したセクタを自動的にス キップするかを設定します。	ON:有効 OFF:無効(出荷時)
	【設定のヒント】 ディスクに物理障害が発生した場合で、一部の正常なデータだけ でもコピーを試す場合等に有効です。 読めないセクタは全てスキップされますので、データの完全性は 保てる保証はありません。あらかじめご了承ください。	
RETRY COUNT	エラー発生時にリトライする回数を指定します。 *ここで指定した回数のリトライ処理を行ってなおエラーが発生す る場合は、処理が停止します。	OFF~99まで (出荷時設定5)
	【設定のヒント】 RETRY COUNT OFF設定は、1~99に設定した場合と挙動が 異なります。詳しくはQ&Aページの「RETRY COUNTをOFFに した場合どうなりますか?(P.45)」を参照してください。	
TIMEOUT RETRY	デバイス応答タイムアウト時にリトライするかを指定します。	ON:有効 OFF:無効(出荷時)
	【設定のヒント】 通常HDDからの応答が無くなった場合はHDDに何らかの障害 が発生している可能性が高いのでそのまま処理を中止すべきで すが、この設定で再度応答を試みることが出来ます。	

オプション設定について

CRC ERRAR RETRY	CRCエラー発生時に自動でリトライするかを設定します。 ※OFFにするとCRCエラー発生時に処理を停止し、入力待ちになります。	ON:有効(出荷時) OFF:無効
AUTO SHUTDOWN	処理終了時に自動的に電源が切るかを指定します。 ※無効にした場合、終了時に自動的に電源が切れず POWER/STARTボタンを押す事で電源が切れます。 ※電源が切れるまでに処理時間、処理容量、平均速度を表示します。	ON:有効(出荷時) OFF:無効
	【設定のヒント】 どのくらいの時間がかかったかを知りたい場合は無効にしておく と、後で確認することが出来ます。	
TIMEOUT PERIOD	デバイス応答がタイムアウトするまでの時間を指定します。 ※Oに設定した場合はタイムアウトせずにHDDを待ち続けます。	0~20までの範囲 (出荷時設定10)
SPIN UP GAP TIME	DISK1とDISK2が回転を始める際のディレイ時間を 指定します。	Auto(1~30)までの 時間
	【設定のヒント】 大電力を要求するHDDを接続した場合、一度に電力負荷がかから ないようにするための設定なので通常は変更しないでください。	(出何時設定10)
SCROLL SPEED	エラー表示のスクロールスピードを変更します。	1~10の範囲 (出荷時設定3)
BUZZER MODE	ブザーの音色を指定します。	CLASSIC、 CUTE、 HAPPY の3種類から指定 (出荷時設定CLASSIC)
PETURN TO MENU	処理選択メニューに戻ります。	
SET TO DEFAULT	出荷時設定に戻します。	
VERSION	バージョンを表示します。	

# 【液晶表示について】

#### ■初期化中のエラー

[STOP]

ディスクの初期化(initializing...表示)の際にエラーが発生すると、次のようなエラー表示とな ります。

表示例

 ← 上段にエラーがスクロール表示されます。 ERR:Disk1 no

←下段はエラーに対する実行可能な処理です。

ERR:Disk1 not Connected.	ディスク1が接続されていない
ERR:Disk2 not Connected.	ディスク2が接続されていない
ERR:DISK1 in Error.	初期化中にディスク1でエラー発生
ERR:DISK2 in Error.	初期化中にディスク2でエラー発生
ERR: No Partition.	パーティション情報が見つかりません
ERR: Partition is too large.	パーティション情報がディスク容量を越えています(異常)

初期化中のエラーは続行が不可能ですので、POWER/STARTボタンを押すと終了します。

#### ■初期化中の警告

ディスクの初期化(initializing...表示)の際の警告表示です。

表示例

←上段にエラーがスクロール表示されます。 WRN: Capacit CONTINUE [STOP]

←下段はエラーに対する実行可能な処理です。

WRN: Capacity Mismatch D1>D2.	DISK2よりもDISK1のほうが大きい
WRN: Capacity Mismatch D1 <d2.< td=""><td>DISK1よりもDISK2のほうが大きい</td></d2.<>	DISK1よりもDISK2のほうが大きい

※コピーモードの場合、コピーする容量がDISK2の容量を上回ると警告となります。 ※コンペアモードの場合はディスク容量が異なる場合に全て警告となります。 ※チェックモード、イレースモードでは発生しません。

ダイヤルボタンを回してこのままの状態で処理を続行[CONTINUE]するか、中断[STOP]す るかを選択し、POWER/STARTボタンで決定します。

液晶表示について

液晶表示について

#### ■処理中のエラー

スタンドアロン処理中にエラーが発生すると、次のような表示になります。

表示例

WRN: Capacit ←上段にエラーがスクロール表示されます。 RETRY (STOP) SKIP AUTO SKIP ←下段はエラーに対する実行可能な処理です。

ERR: Diskn Read Error(xxxx).	ディスクn(Disk1あるいはDisk2)で読み込みエラー
ERR: Diskn Write Error(xxxx).	ディスクn(Disk1あるいはDisk2)で書き込みエラー
ERR: Diskn Timeout Error.	ディスクn(Disk1あるいはDisk2)へのコマンド発行タイムア
	ウトエラー

ダイヤルボタンを回して処理を選択し、POWER/STARTボタンで決定します。

RETRY	同じ処理を同じセクタに対して繰り返します	
STOP	処理を中断して電源を切ります	
SKIP	エラーの出たセクタをスキップして続行します	
AUTO SKIP	IP エラーの出たセクタをスキップして続行します。以降エラ-	
	出た場合は停止せずにスキップして続行します。	

※スキップ処理を行った場合、行った処理結果は完全なものとはなりません。 例えば、コピー中にエラー発生してスキップしたデータは、コピー元のデータと一致しない ものとなります。

#### ■コンペア処理時差異発生時

表示例

※上段はスクロールして表示されます。

LBA=xxxxxxxxxx

差異のあったLBAを表示します

コンペアエラーは続行が不可能ですので、POWER/STARTボタンを押すと終了します。

# 【液晶表示について】

■リトライ表示

DISK COPY [R=rr] RD=xxxxxxxxxxxx

リトライが発生すると液晶の表示が切り替わります。

表示例

←処理中の処理とリトライ回数(回数=rr)

←処理中のリトライ処理と処理中のLBA

RD=xxxxxxxxx	読み取りリトライ処理中
WD=xxxxxxxxx	書き込みリトライ処理中
VD=xxxxxxxxx	ベリファイリトライ処理中

リトライ表示の処理は実行中の処理によって異なります。

#### ■タイムアウト表示

タイムアウトが発生すると液晶の上段の表示が切り替わります。

DISK COPY[T=xxs]

xx=タイムアウトカウントです。

OPTIONSで指定しているタイムアウト設定カウントまでカウントアップされるとタイムアウト エラーとなります。

#### ■ディスクチェック時の修復書き込み表示

ディスクチェックでエラーが発生した場合のダミー書き込み時の表示です。

表示例

#### ■終了時の液晶表示

#### ・AUTO SHUTDOWN 有効時

自動的に電源が切れますので表示されるものはありません。

#### ・AUTO SHUTDOWN 無効時

電源が切れるまでに処理時間、処理容量、平均速度を表示します。

#### ・処理中にスキップ処理が行われた場合

※AUTO SHUTDOWNが有効でもスキップが行われた場合は自動的に電源が切れませんのでご 注意ください。

液晶表示について

# PC 接続モード

# 【KD25/35PRO を PC と接続して使う】

PCから接続したハードディスクを外付けハードディスクと同じように認識させる モードです。

※PC接続モードはPCと接続時に電源を入れないと選択できません。

PCと接続せずに電源を入れるとスタンドアロンモードとして起動します。

※電源投入直後にUSBケーブルを抜き刺しすることでスタンドアロン/PC接続時のモードを切り替えることが出来ます。モード選択後は電源を切るまで選択したモードが保持されます。

#### PC接続モードの使用方法

1:接続するPCの電源を入れた後、KD25/35PROをPCと接続して電源を入れます。

2:モードセレクト画面が表示されます。

Selec	t!
STAND	ARD

モードスイッチを回転させるとモードが切り替わりますので、使いたいモードを 選択してPOWER/STARTボタンを押します。

3:HDDが回転し、選択したモードでKD25/35PROが起動します。 このときHDDの起動や回転開始を待つため、PCに認識されるまでに、モード選 択してから 30秒~1分かかります。

STANDARD:スタンダードモード COMBINE:コンバインモード MIRROR:ミラーモード 各処理の説明 [PC接続モート

◎HDDの接続→P.4

#### 【操作手順】

- 1. HDDをつないだ後、電源ケーブルをつなぐ
- 2. 立ち上げてあるPCとつなぐ
- 3. 本体の電源をいれる
- 4. モードを選ぶ ※モード説明→下記
- 5. PCから認識された事を確認する



## ■スタンダードモード

各処理の説明

・接続したハードディスクを認識します。



※eSATA接続でSTANDARDモードで使用する場合は、DISK1のみ認識されます。 ※ポートマルチプライヤーには対応しておりません。

#### ■コンバインモード

・2台のHDDを連結して一つのハードディスクとして認識させます。

例) DISK1に250GB、DISK2に300GBのハードディスクを接続し、コンバインモードに設定すると550GBのハードディスクとして認識されます。



#### コンバインモード

※片方のハードディスクが破損すると、保存してあるデータはどちらのハードディスクに保存 されていたかに関わらず失われます。

#### ■ミラーモード

・接続した2台のハードディスクに同時に同じデータを書き込みます。 同じデータが書かれますので、故障等で消えると困るデータを保持しておく用途等に使用します。



重要:ミラーモードでご使用する場合はコピーモードで1度2台のHDDを同じ内容にするか、最初に フォーマットしてお使いください。そのまま何もせずにミラーモードにすると正しくデータがパック アップされません。

※ミラーモードで認識される容量は、双方のハードディスクの容量の同じ部分までとなります。
例) DISK1に160GB、DISK2に120GBのハードディスクでミラーモードを設定すると、認識される容量は120GBとなり、DISK1の120GBから余った部分は使用されません。

※ミラーモードで複数同時書き込みを設定した場合、一番最初にフォーマットをして、双方の ハードディスクの内容を同期しなければ正しく同じデータになりません。

<sup>1</sup>つのHDDとして認識されます。

## 【Windowsでの使用方法】 ■ドライバのインストール~USB編

- 1:Windowsを起動します。
- 2:本機にACケーブル、USBケーブルを接続し、電源を入れます。
- 3:コンピュータに本機を接続します。
- 4:コンピュータが自動的にWindows標準のドライバを検索してインストールします。すで にフォーマット済みのHDDを組み込んだ場合は、マイコンピュータにハードディスクドラ イブが認識されます。フォーマットされていないHDDを接続した場合は、領域の確保と フォーマットが必要ですので、下記「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

#### ■ドライバのインストール~eSATA編

- 1:Windowsを起動します。
- 2:本機にACケーブル、eSATAケーブルを接続し、電源を入れます。
- 3:コンピュータに本機を接続します。
- 4:コンピュータが自動的にWindows標準のドライバを検索してインストールします。すで にフォーマット済みのHDDを組み込んだ場合は、マイコンピュータにハードディスクドラ イブが認識されます。フォーマットされていないHDDを接続した場合は、領域の確保と フォーマットが必要ですので、下記「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

#### ■内蔵したHDDをダイナミックディスクでフォーマットしていた場合

ダイナミックディスクは取り外しの出来ない内蔵用を前提としたディスクの容量確保形式ですので、本 製品のような外付けHDDケースにダイナミックディスクでフォーマットしたHDDを内蔵すると、デー タの認識が出来ない等の不具合が生じる場合があります。 この場合、HDDのデータを別の場所にバックアップを取り、ベーシックディスク形式でフォーマットし

この場合、市ビロビリーラを前の場所にバックノックを取り、ペークックフィスクルムCクォーマットの なおしてご利用ください。 ダイナミックディスクかペーシックディスクかを確認するには、「ディスクの管理」画面にて確認でき

タイナミックティスクかペーシックティスクかを確認するには、「ティスクの管理」画面にて確認でき ます。

PC接続モード

# 【領域の確保とフォーマット】

注意:この説明では、ハードディスクドライブにパーティションを分割しない設定で領域を確 保する前提での操作を説明しています。パーティションの分割等の操作については、 Windowsの説明書や参考書籍などをご参照ください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。 消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

#### Windows Vistaの場合



フォーマットをするアプリケーションを起動 するために、スタートから

【コントロールパネル】→【クラシック表示】

※コントロールパネルを開いても【クラ シック表示】にしないと管理ツールが表 示されませんのでご注意ください。

【管理ツール】の中の【コンピュータの管

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウイ ンドウが表示されます。【続行】をクリッ クしてください。 続行できない場合は、ユーザーに管理者 としての権限がありません。 システムの管理者にご相談ください。



W

i

n

d

0

WSでの使用方法

# 【領域の確保とフォーマット】

 【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを 確認して【OK】をクリックします \*\*パーティションスタイルについて

パーティションスタイルに関しては2TB以上の 容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用する 事をお勧めします。

GPT形式は、Windows2000やWindowsXP等では読み書きすることが出来ません。 また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。 GPT形式であれば2TBを超える容量が扱える訳では無いことに注意してください。



PC接続モード

4.

i nd o w sでの使用方法

W



【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエク スプローラで割り当てられるドライブ のアルファベットです。通常、Cが起動 ドライブで以降アルファベット順に割り 当てられます。特に指定がなければ空い ている割り当て番号の一番若いアルファ ベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】 は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsのヘルプや参考書をご参照ください。



【パーティションのフォーマット】ウインドウ が表示されます。

ファイルシステム
 NTFSとFAT32が選択可能です。

※FAT32では32GB以上の領域をフォーマットできませんので、32GB以上の領域を使用する場合は NTFSでフォーマットを行ってください。

・アロケーションユニットサイズ パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定が ない限り、規定値で問題ありません。

・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマット

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行い ます。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不 良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。 通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態より も劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

Windowsでの使用方法

# 【領域の確保とフォーマット】

10.

11.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完 了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】 をクリックするとフォーマットが開始されま す。

日 ティスク1 ペーシック 4.65 GB オンライン 2.7-マット中:(3%) ④ CD-ROM 0 DVD (0:) ● 素和9当て ● プチ(マ) パーラィジョン これでフォーマットの作業は完了です。 ディスクの管理の容量表示ウインドウに は、フォーマット完了までの進行状況が 表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコン ピュータにディスクが表示され、使用可 能になります。

#### Windows2000/WindowsXPの場合

注意:フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインしておこなっ て下さい。



i

34



#≣© | ↔ → © © © © # #

#元05

| ~ → © 🛛 🕄 🖸 🖼 😂

111/2) 87:00 0 → C 10 (2) (2 m 12

ティションの種類を運転 ヘイロスパータノいとの種類を指定していたろい。

> はないーティンシンは種類を選んでいたい。 キリフィックパーティンシング

フライマリバーライン、パペーシックディスクとななき場話を使用して作用した作う、しんです。 Mindows 2000と思いたペレーティーダンスを見まりつくや、バーライン、から記録できます。ペ ーシックティスの工程書も、1 支付のアイマロドバーティンの人作用紙、または3 つのフライマドバ ーメージのディスト 1 気料を取ったべきを取りたすます。

帰居よりも小さく数定してください

5145 MB

7 MB

CREW.

80811-92122-(0)

ティション サイズの指定

パーティンス かかくぶま 最大学

最大ディスク構成

最小ディスク構成

100012-1-1200450



\_ICI X

(R3@ 2000) 445456

\_0×

(原も図 次へ図) キャンセル

LICI X

코 #

〈異ひ(別 22へ(別)) キャンセル

N-RANGED BOAR-BORD

線行するには、「大へ」をりつりしてください

しのハイサードでペーシックティスカ上にパーティンタンをTaticできます。 ペーシックティスクロ、フライマリ、パーティンタンをTaticできます。 単語サインドをきた知道サイスクロマリ、ペーシックサイスの工に、Windows サイトロシンドに見ついた。この「ロンタン」の「Alasta Tatication」 す。また、ペーンシクティスカ上のパーティンタンには、Mic-DOS を終ってい ないてきます。 次にパーティションの作成を行います。 「未割り当て」と表示され、斜線になっ ているディスクがフォーマットされてい ないディスクですので、「未割り当て」 と表示されている部分を「左クリック」 で選択し、「右クリック」でメニューを 開き、「パーティションの作成(P)..」 を選択します。

「パーティション作成ウイザード」が表 示されます。 「次へ」をクリックします。

「パーティションの種類を選択」ウインドウ が表示されます。 「プライマリパーティション」を選択して 「次へ」をクリックします。 ※一つのディスクを5つ以上のパーティ ションに分割する場合は、拡張パー ティションを選択します。

「パーティションサイズの指定」ウインドウ が表示されます。 「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量(1パーティション)ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パー ティション作成ウイザード」を繰り返して行う事で、複数のパーティションを作成する事が出来ます。

6.

7.

8.





「ドライブ文字またはパスの割り当て」 ウインドウが表示されます。

ドライブ文字を指定して「次へ」をク リックします。

※「ドライブバスをサポートする空の ボリュームにマウントする(M)」は Windows2000、XPの機能で、元々あっ たハードディスクの中に、新しいハードディ スクを増設する方法です。詳しくはお使いの Windowsの説明書、ヘルブ、参考書籍をご 参照ください。

「パーティションのフォーマット」ウインドウ が表示されます。

このウインドウでフォーマット設定をする 事が出来ます。

・使用するファイルシステム NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows2000、XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットする事が出来ません。

・アロケーションユニットサイズ

アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

・ボリュームラベル

「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ規程の「ボリューム」というボリュームラベル が設定されます。

- ・クイックフォーマットする
   このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットする事ができません。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする Windowsのファイル圧縮機能を使用します。 ファイルを圧縮して格納する事により、実際の容量よりも大きく使用する事が可能ですが、仕様的にファイ ルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参 照ください。

全て設定して「次へ」をクリックします。



 「パーティション作成ウイザードの完 了」ウインドウが表示されます。
 「完了」をクリックして閉じます。 W

# 【領域の確保とフォーマット】

Other 1	- Black	1.7061	\$670	760120781
<ul> <li>二、ビビュータの管理</li> <li>ご・ビュータの管理</li> <li>ジ・ジョンステム リーノ</li> <li>ジ・ジョンステム H</li> <li>ジ・ジョンステム H</li> <li>ジ・ジョンステム H</li> <li>ジ・ジョンステム H</li> <li>ジ・ジョンステム H</li> <li>ジ・ジョンステム H</li> </ul>	(ローカル) コーア 種 パ、ログと智告	パーティンロン パーティンロン	ベーショウ	FAT32
- 高子が425 9日の一方から 8日回記録報 - 日本の - 日本 - 日本の - 日本の - 日本の - 日本の - 日本の - 日本の - 日本 - 日本の - 日本 - 日本 - 日本の - 日本 - 日本 - 日本 - 日本 - 日本 - 日本 - 日本 - 日本	ネージャ ー・ザーとグルーナ 評理 プラグ ツール プ ガージ パー マージ プ パー マージ マージ マージ マージ マージ マージ マージ マー	() 0 (C)		
* @ F-ezert	サーション おしら GB オンライン マーション 5402 バーション 503 GB	(0 1 (0 ) 500 GB	3	

フォーマットが開始されます。

「ディスクの管理」で表示されるステー タスが「フォーマット中」になります。 進行状況が100%になり、ステータス が「正常」になればフォーマット完了で す。

使用可能になっていますので、マイコン ピュータからディスクアイコンを開いて コピーなどを行ってみてください。



フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示 されますが故障ではありません。

フォーマット中は、コンピュータ、HDDの電源を切ったり、ケー ブルを取外したり、Windowsを終了しないで下さい。故障の原因 となります

# PC接続モード

# 【コンピュータ起動中のモード変更とHDDの取り外し】

本機では独自の方法でコンピュータ起動中のモード変更とHDDの取り外しが可能です。

※USB接続時のみ。

※eSATA接続時はお使いのホストアダプタによって、手順が異なります。詳しくはお使いのeSATAホストアダプタ の取扱説明書をご確認ください。取り外しに対応していないホストアダプタもございます。

ł	≶/\- ¤	לודל	の取りら	<u>ት</u> Ⴑ								?)
	S	取ら:	り外すう Iンビュ・	デバイスキ ータからテ	選択し バイス	て [停止 頭的外し	] をクリック ,てください	してくだ 。	ぎい。取け	外しの	安全加	観辺された
	ハードウ	IP :	デイス	( <u>H</u> ):								
	~ US	B 大 IBM	DADA	他共活 26480	デバイス USB D	levice						
	USB 大	容量	記憶装	置デバイ	イス (US	B2.0-AT	API Brid	ge)				
	USB 大	容量	記憶装	置デバイ	ſス (US	B2.0-AT	'API Brid	se)	<u>コパティ(P</u>		停」	£©
	USB 大 マ <i>デ</i> バ	容量	記憶装	温デバー ネントを	(ス (US 表示する	82.0-AT	'API Brid	ge) 7[	1/777( <u>P</u>	>	停」	<u>FØ</u>

Windowsの「ハードウェアの取り外し」を 使用します。

HDDを接続すると、タスクトレイに「ハード ウェアの取り外し」アイコンが表示されま す。

「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブ ルクリックすると、「ハードウェアの取り外 し」ウインドウが表示されます。

「大容量記憶装置デバイス」をシングルク リックで選択し、「停止」をクリックします。

続いて「ハードウェアデバイスの停止」ウイ ンドウが表示されますので、「OK」をクリッ クします。

2.	ハードウェア	の取り外し 🛛 🗙	1
	٩	'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。	
		ОК	

取り外し完了のメッセージが表示されて 完了です。「OK」を押してWindows側 からのHDDの取り外しが完了です。

本機の電源を切るか、PCからケーブル を取り外してください。

※スタンダードモードで複数のHDDを接続している場合、どれかひとつの取り外しを行うと全てのHDD が取り外しされます。

# 【Macintoshでの使用方法】

MacOS XではMacOS標準のドライバを使用します。 ※予めMacOS9.xで初期化されたHDDは、フォーマットせずに使用可能です。 MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

0 ディスク と 0 ポリューム が最好され	ました 情報 First Aid 消去 パーティション RAID
<ul> <li>▶ 28.63 G8 IBN-</li> <li>▶ 27.96 G8</li> <li>▶ 3.03 G8 Century</li> <li>▶ 217.93 M8</li> </ul>	
	71 AV REWRY 3 - A KRAUGET
	1≪6011=01.99

1 7 + 7.9 ≥ 0 # 9 = - A MERIANELA > 28.63 GB IBM-> 27.96 GB > 5.03 GB Century > 217.93 MB

▶ ○ 28.63 GB IBM-▶ ○ 27.95 GB ○ 5.03 GB Centu ▶ ○ 217.93 MB

· \*\*\*\*\*\*\*

「情報」 First Aid 】 消去】 パーティション 】 RAID

全体のサイズ: 5.03 GB (5,403,525,120 パイト) 接続パス: FireWire 接続 ID: 63110936877078376

> 名前: 名称未設定 マット: Mac OS 拡張 (\*) サイズ: 5.03 G8

Mac OS 9 ディスクドライバモインストー

ポリュームの方式を選択し、ポリューム名とファィ ルレステムのタイプを選択して、ポリューム名とファィ ズを変更します。

にを変更します。 このディスクは初期化できます。

(HR) (HR)

5.03 G8 同変更できないようにする

(元に戻す) OK

「Disk Utility」を起動します。 ※「Disk Utility」は、アプリケーション >Utilityの中にあります。 左側に接続されているフォーマット可 能ディスクの一覧が表示されます。 本機に接続したHDDは、「xx GB Century」と表示されます(xxは接続 したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

接続されているディスクの情報が表示さ れます。

上の「パーティション」タブをクリック します。 パーティション設定を変更できます。

ハーティション設定を変更してより

ボリュームの方式

:作成するボリューム数を選択します。 8つまで分割して作成する事が可能で す。

ボリューム

:メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報:ボリューム情報は「ボリュームの方式」で選択されたボリューム情 報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選 択するとパーティション毎に設定を変更する事が可能です。

名前:作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名 前が付けられます。

1.

2.

3.

- フォーマット:作成するボリュームのフォーマットを選択します。「MacOS標準」、 「MacOS拡張」、「UNIXファイルシステム」、「空き領域」が選択 できます。通常は「MacOS標準」か「MacOS拡張」を選択してくだ さい。
- サイズ:作成するボリュームのサイズを変更できます。
- オプション:「MacOS9ディスクドライバをインストール」のチェックをすると MacOS9で動作するドライバをインストールします。
- 分割:選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

RAID

5.03 CB

- 削除:選択されているボリュームを削除します。
- 元に戻す: 直前の変更を元に戻します。

(++>++) (R-7+>=>)

Mac OS 9 ディスクドライバモインストー

ボリュームの方式を選択し、ボリューム名とファイ あシステムのタイプを選択して、ボリュームのサイ ズを変更します。

(7KR#) OK

スを変更します。 このディスクは初期化できます。



アイスクとキボリュ

► 28.63 GB BM-► 27.96 GB 5.03 GB Cernur ► 217.93 MB -88

名称未設定

(98) (MB)

変更できないようにするにはカギをクリックします。

全て決定したら右下の「OK」をクリッ クします。 警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、 キャンセルする場合は「キャンセル」を クリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトッ プにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンを Dockの中のごみ箱にドロップします。

※スタンダードモードで複数のHDDを接続し ている場合、どれかひとつの取り外しを行う と全てのHDDが取り外しされます。 M a c

i

n

toshでの使用方

# 【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。 「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

#### ■認識されない

以下をお試しください。 USBケーブル、e-SATAケーブル、ACケーブルを確認する。 電源ケーブル、電源LEDが点灯しているかを確認する。 HDDの設定がMASTER(HDDによってはSingleDrive)になっているかを確認する。

#### ■KD25/35PROからOSが起動しない

USB接続でのOS起動はサポートしておりません。 eSATA接続の場合は、お使いのeSATA I/Fの設定をご確認ください。

#### ■転送速度が遅い

USB1.1接続の場合バスの転送速度が遅いため、高速な転送は行えません。 おおよそ1MB/秒弱の転送速度となってしまいます。

#### ■Windows2000でフォーマットを行うと「フォーマットが完了しませんで した」とダイアログが表示され、フォーマットできない

Windows2000の場合、32GBを越えるFAT32パーティションは作成する事が出来ません。 この場合はNTFSでフォーマットするか、Windows98SE/Me等で予めフォーマットを行っ ておくことが必要です。

#### ■コピーできない、コピー中に止まる

HDDに異常がある可能性があります。スタンドアロン(標準モード)で一度ディスクのチェックをしてください。

#### ■標準モードでHDDを2台接続したのに片方のHDDしか認識しない。

ServicePack4がインストールされていない可能性があります。インストールされているか をご確認ください。(Windows2000の場合)

eSATA接続でスタンダードモードの場合Disk1のみ認識され、Disk2は認識されません。 (eSATA接続の場合)

#### Maxtor製(SeagateブランドのMaxtor設計HDD含む)HDDを接続する 際の注意

Maxtor製HDDは、このような剥き出しの状態で使用する事を前提とされていない模様で、弊 社の検証でHDDを置く位置や角度等によって速度が異なる現象を確認しております。これは Maxtor製HDDの接地や回路設計に起因する問題であると思われます。

※弊社製品のみならず、PCのマザーボード上のSATAコネクタと接続した場合でもHDDに組み 込まない、剥き出しの状態で使用すると同様の症状が発生します。

現状対策としては

・HDDの上下を逆にして(裏返しにして)接続する

・HDDを何らかの方法で接地面より浮かせて使用する

・HDDを金属板等で囲って使用する

等で改善する可能性があります。

※HITACHI製、Seagate設計のHDD等ではこのような症状は見られません。

# [FAQ]

#### Q:異なる容量のHDD同士でもコピー可能ですか?

A:可能です。異なる容量の場合、コピー先が大きい場合は全てのデータがコピーされます。 小さな容量へのコピーも処理を開始することは可能ですが、コピー先のデータ容量が一杯になった段 階で処理が終了するため、全てのデータがコピーされません。

#### Q:異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか?

A: コピーモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。 40GBのHDDから80GBのHDDへコピーした場合、40GBはそのままコピーが行われ、残り40GB が空き容量となります。



空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。

■Windows2000/XPの場合

ディスクの管理で利用可能です。

■Macintoshの場合 残念ながら利用する方法がございません。

#### Q:異なる回転数、転送規格のHDDでもコピー可能ですか?

A:可能です。ただし、UltraDMAに対応していないPATA(IDE) HDDの場合、OPTIONで転送速度設 定の変更が必要になる場合があります。SATA HDDの場合は特に条件なくコピー可能です。

#### Q:Linux等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー可能ですか?

A: コピーモードはセクタ単位のコピーを行うため、HDD内のファイルシステムやデータフォーマット を判別しておりません。そのため、コピーモードでHDDのクローンを作ることは可能です。 全く同じ容量、メーカ、銘柄のHDDであればそのまま起動も可能ですが、容量が異なるHDDにコ ピーした際のOSの扱いがどのようになるかは未検証です。お客様の責任において行って頂きますよ うお願いします。

#### Q:不良セクタのあるHDDをコピーに使用することは可能ですか?

A:本機はHDD復旧ツールではありませんので、PC等で読めなくなっているHDDの領域を読むことは 出来ません。

読めない部分をスキップすることで、読めるデータだけを正常なHDDにコピーする事は可能です。 ただし、何処のデータが読めなかった等は解りませんので、コピーされたHDDに入っているデータ が使用に耐えうるものかは解りかねます。また、書き込み側にトラブルのあるHDDを配してスキッ プしながらコピー書き込みを行う事も仕様的には可能ですが、データ保護の点からいっても意味が無 いと思われます。

#### Q:メーカーAの40GBHDDからメーカーBの40GBHDDへコピーしよう とすると、WRN(警告)が表示されるのですが?

A:同じ40GBHDDでもメーカーによって細かい容量が異なります。 また、同じ型番のHDDでもロット差により細かい容量の差がある場合がありますので御注意ください

#### Q:SCSIのHDDをコピー可能ですか?

A:対応しておりません。PATA(IDE)のHDDおよびSATA HDDのみ接続可能です。 SCSI HDDをPATA(IDE) HDDに変換するアダプタ(現時点で存在を確認しておりませんが)を用 いての接続に関しては、弊社では解りかねます。

#### Q:PCに内蔵してあるHDDをコピー可能ですか?

A: 内蔵したままではコピーモードを使用することは出来ません。 コピーモードを使用する場合、必ずHDDをコンピュータから取り出して直接KD25/35PROに接続 しなければなりません。

#### Q:コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元より も小さなHDDにコピーできますか?

- A:コピー自体は容量の小さなHDDへも可能ですが、コピー先の容量が一杯になってしまった段階で処 理が終了します。そのためデータに関しては全てがコピー出来るかはわかりません。 例えば、40GBのHDDを空き容量20GBなので20GBのHDDへコピー可能かといえば、
  - ・OSがデータをHDDのどの領域に書き込むかは解らない
  - ・本機では「データが無い」というのも「無いというデータ」として扱う
  - という点から、この状態でデータの完全なコピーが可能かというと運次第となります。

データの完全なコピーをするのであれば、同容量か大きな容量のHDDへコピーを行ってください。



#### Q:コピーにかかる時間はどのくらいですか?

A:コピーを行うHDDによっても異なりますが、1GB~4GB/分の高速コピーが可能です。

#### Q:コピーする前にコピー先HDDをフォーマットしておく必要はありますか?

A:必要ありません。コピー元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、コピー 先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

# [FAQ]

#### Q:OPTIONSにて設定できるRETRY COUNTを[OFF]にした場合どうな りますか?

- A:エラー発生時のにRETRYを行わなくなりますが、コピーモード等の処理の仕様上、正常なセクタを スキップする可能性があります。
- 例) 300セクタ目に何らかの原因で読み取れない不良ブロックがあるケース



#### ■RETRY COUNT が1以上の場合



(2) エラーが発生以降の、そのコピー単位のセクタはスキップします。

※このため301セクタから508セクタまでは正常かどうかに関わらず まとめてスキップされます。

#### ■不良セクタの発生したディスクをコピー元にした場合

データが正常にコピー出来る可能性は RETRY COUNT 1以上 > RETRY COUNT [OFF]

処理速度に関しては RETRY COUNT 1以上 < RETRY COUNT [OFF] となります。ご参考まで。

# 【サポートのご案内】

【 <b>販売・サポート】</b> 株式会社 センチュリー	<b>■サポートセンター</b> 〒277-0872 千葉県柏市十余二翁原240-9
6	【TEL】04-7142-7533 (平日午前10時~午後5時まで)
	[FAX] 04-7142-7285 [Web] http://www.century.co.jp [Mail] support@century.co.jp
CENTURY	<b>~お願い~</b> 修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから 発送をお願いいたします。



#### — 本書に関するご注意 —

- 1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、 お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセン チュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた 損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

\*This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.